

(4) 平成26年度事業計画(案)について

①黒岳トイレの管理運営について

黒岳トイレについては、オーバーユース状態となっており、協力金徴収（前年度実績50%）等々の課題解決を関係機関と協議の上、最善策を見出すことに努める。

特に安定的な維持管理費を確保するため、協力金徴収率の向上が必要であり、各所にポスターの掲示やチラシ配布（備え置き）を行い周知する。また、ポータブルトイレの利用拡大のための方策を検討し、繁忙期の17日間については、黒岳石室管理人により協力金の呼びかけ等を行い徴収率の向上に努める。

②白雲岳避難小屋の管理運営について

白雲岳避難小屋については、平成21年度に減少した利用者が回復傾向にあり、登山ルート的重要施設であることに鑑み、2名の管理人を配置し、登山者の安全確保と自然環境保護の啓発を図る。

また、今年度は防災無線機器の充実のために充電用発電機を購入する。

③自然保護巡視事業について

自然保護巡視事業は、高山植物の盗掘防止と利用者の安全と環境保護のため、上川町・りんゆう観光・高原山荘が負担し巡視員を確保し事業を展開する。

今年度も、昨年同様、黒岳1名、銀泉台2名、高原温泉1名の4名の巡視員を配置し事業実施に当たる。